

お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。
お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながる場合があります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。

また、ご自身で調整を行う場合も、本書に従って行ってください。

ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または当社お客様相談室に修理を依頼してください。

お願い

【調整する場合】

商品を調整する際は、電動ドライバーを使用しないでください。
商品の不具合や破損の原因となります。

【水への配慮】

お手入れの際、窓やドアにホースや高圧洗浄機などで勢いよく水をかけないでください。
室内側へ水が入るおそれがあります。

ポスト口に、ホースなどで直接水をかけないでください。
内部の郵便物が濡れるおそれがあります。

【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

お手入れの際、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。
表面に付着すると、変色するおそれがあります。
付着した場合は、すみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

お願い

【アルミ製商品】

表面に汚れがついた場合は、早めに洗い落としてください。
汚れがついたまま放置すると、しみ、腐食、色落ちするおそれがあります。

【スチール製商品】

玄関ドアの鋼板表面を水や中性洗剤でふいても、艶や色あせが改善されない場合は、研磨剤の入っていないワックスを使ってお手入れすることをお勧めします。

※ワックスの一例：植物成分100%のワックス

※ワックスを使用する際は、その用途を確認し、説明書に従ってお手入れしてください。
ドア鋼板に適さないワックスは、変色や汚損の原因となりますので使用しないでください。

【樹脂製商品】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけないでください。
熱源を近づけたり、触れたりすると、変形することがあります。

樹脂表面に、殺虫剤などの薬剤を塗布・散布しないでください。
薬剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

【アクリル・ポリカーボネート板】

商品に有機溶剤を含む、殺虫剤やガラスクリーナーを塗布・散布しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れが発生するおそれがあります。

【ガラス】

お手入れの際は、必ず柔らかい布をご使用ください。
ガラス表面にキズがつくと、割れるおそれがあります。
ガラス表面にキズがついた場合はお早めに、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

【電動商品】

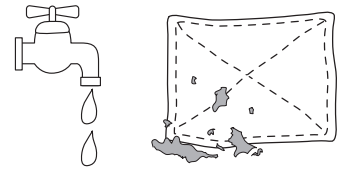
お手入れの際、電装部品に水がかからないようご注意ください。
水がかかると、故障するおそれがあります。
電装部品に不具合が生じた場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

お手入れ方法

■通常のお手入れ（ハンドル・引手含む）

1 表面のホコリ・砂を落とす

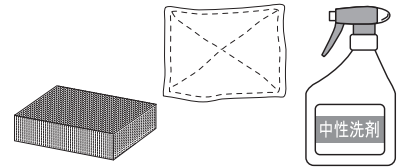
柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



2 水ぶきする

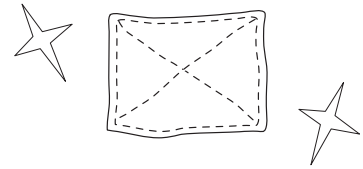
柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3 水分をふき取る

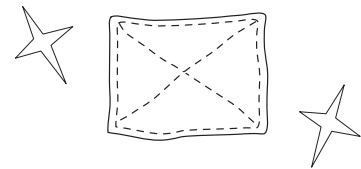
乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



■結露・雨水などがかった場合

1 水分をふき取る

すみやかに乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



■リモコンのお手入れ

1 柔らかい布で空ぶきする

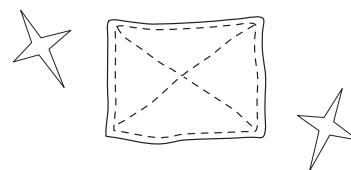
表面の汚れは、乾いた布や綿棒で軽くふき取ります。

⚠ 注意

- お手入れの際、誤ってリモコンのボタンを押さないようご注意ください。意図せず商品が作動し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

- リモコンを水拭きしないでください。リモコンの中に水が入ると故障の原因となります。



下枠・レール

- 下枠やレールは、特に砂、ホコリ、ゴミなどがたまりやすいところです。こまめにお手入れしてください。

■下枠・レールのお手入れ

1

砂やホコリを吸い取る

レールのミゾ内部にたまった砂やホコリを掃除機で吸い取ります。



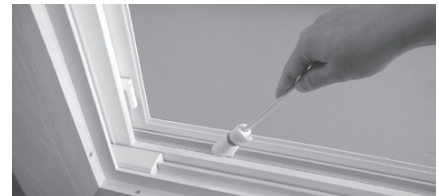
または、やわらかいブラシで砂やホコリを落とします。



2

汚れをふき取る

割り箸の先に布を巻き付け、さらに汚れをふき取ります。

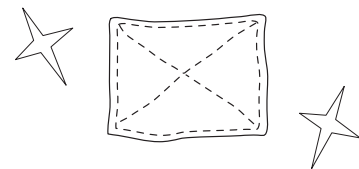


■土間引戸の下枠レール間に水がたまった場合

1

水分をふき取る

下枠に水がたまった場合は、乾いた布で水分をふき取ります。



お願い

時間が経つと水は流れていきますが、気になる場合は、ふき取ってください。

ガラス

● ガラスに浮き出る吸盤やラベルの跡について

ガラス表面が曇った時など、製造や施工の際に使用する吸盤の跡や、施工時に貼ってあるラベルの跡が浮き出てくることがあります。

これは、ガラスの機能や性能に影響を及ぼすものではありませんが、通常のクリーニングでは除去できない場合があります。中性洗剤で落とすことが難しい場合は、カー用品店やホームセンターで購入できる「自動車用油膜除去剤」（酸化セリウム配合）で除去できます。

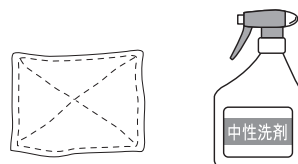
ご使用にあたっては、「油膜除去剤」に添付されている取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

■ ガラスのお手入れ

1

汚れをふき取る

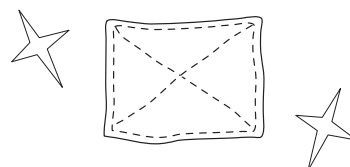
柔らかい布に中性洗剤（1～2%の水溶液）を浸し、汚れをふき取ります。



2

水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



網戸（ネット部分）

● 網戸の取りはずし方・取り付け方は、P.247～P.295を参照してください。

1 ネットを水洗いする

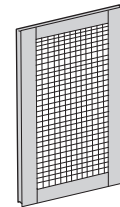
ネットがはずれないように柔らかいブラシやスポンジで軽く押さえるように水洗いします。

※汚れが落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使い、軽く洗い流します。



2 水分をふき取る

水分を十分にふき取り、乾燥させます。

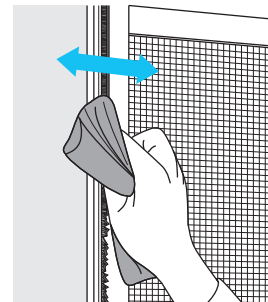


網戸（モヘア部分）

1 モヘア表面のホコリ・砂を落とす

柔らかい布や柔らかいブラシに水を浸し、モヘアの毛並みに沿うように水洗いします。

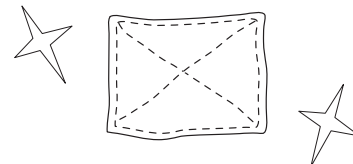
※汚れが落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使い、軽く洗い流します。



2 水分をふき取る

モヘアの毛並みに沿うように水分を十分にふき取り、乾燥させます。

※モヘアが毛束になっている場合は、毛束をほぐしながら水分をふき取ります。



カギ・カギ穴

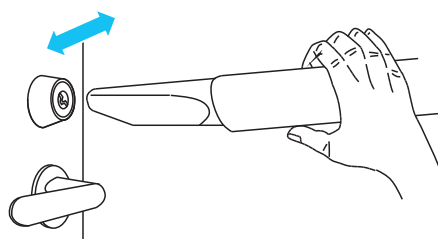
お願い

- 油が含まれている潤滑剤（CRC、シリコンスプレーなど）は使用しないでください。ゴミやホコリがカギ穴内部に付着し、作動不良や故障の原因となります。

■カギ穴のお手入れ

1 ゴミを吸い出す

掃除機をカギ穴につけ、左右に振って中のゴミを吸い出します。



または
パソコンのキーボードのゴミを飛ばすエア
ダスターなどを使って中のゴミを吹き飛ば
します。

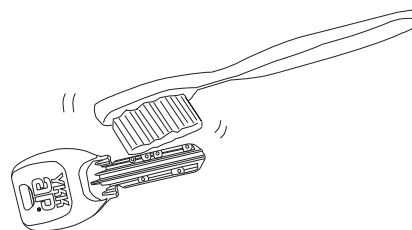


■カギのお手入れ

1 汚れをかき出す

古い歯ブラシなどで、きざみ部分やミゾの汚れをかき出します。

※定期的に掃除をしてください。



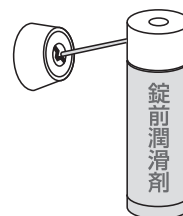
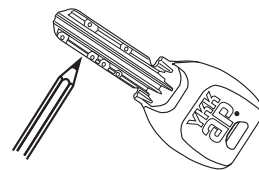
■カギ穴の抜き差しがスムーズにできない、または重い時

1 きざみ部分やミゾを黒く塗る

カギのきざみ部分やミゾを鉛筆でなぞり、黒く塗ります。

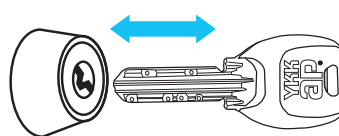
または
錠前潤滑剤をカギ穴に少量スプレーします。

※錠前潤滑剤のご購入はYKKAP Parts Shop まで。
(<http://parts.ykkap.co.jp/shop/>)



2 カギを抜き差しする

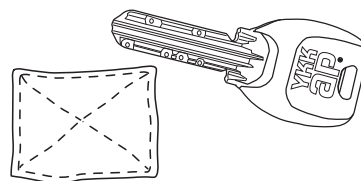
カギ穴に差し込み、数回抜き差しします。



3 黒い粉や潤滑剤をふき取る

カギに付着した黒い粉または潤滑剤を布などでふき取ります。

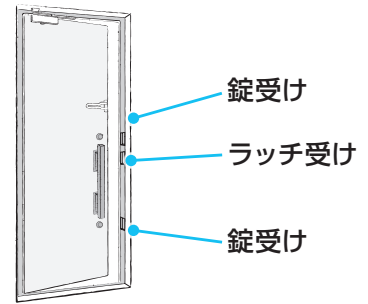
※必ずふき取ってください。そのまま使用すると、衣服等を汚す場合があります。



玄関ドア・勝手口ドア

ラッチ受け・錠受けの調整方法

ドアの閉まりが悪くなったり、カギがかかりにくくなった場合は、ラッチ受けまたは錠受けの位置を調整してください。



ご使用前に確認してください

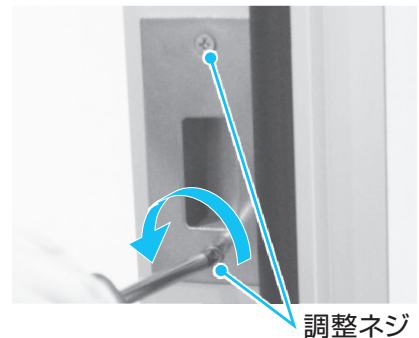
- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 ドアを開ける

ドアを開け、閉まらないようにドアストッパーなどで固定します。

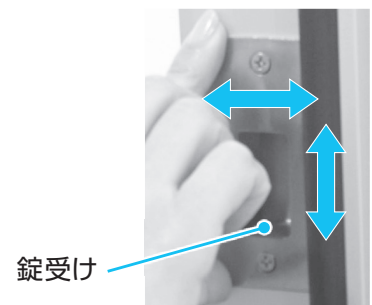
2 調整ネジをゆるめる

プラスドライバーで調整ネジを反時計回りにまわしてゆるめます。



3 ラッチ受けまたは錠受けを調整する

ラッチ受けまたは錠受けを上下左右に動かして位置を調整します。



4 調整ネジをしめる

調整ネジを時計回りにまわしてしめます。

※ドアの閉まりやカギのかかり具合が悪い場合は、手順1～3を繰り返し、ラッチ受けまたは錠受けの位置を調整してください。



調整板可動タイプの場合

1 ドアを開ける

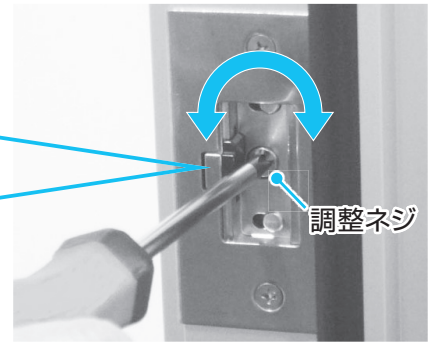
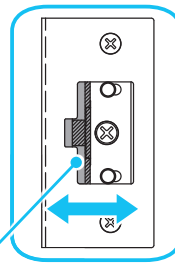
ドアを開け、閉まらないようにドアストッパーなどで固定します。

2 調整ネジをまわして位置を調整する

プラスドライバーで調整ネジをまわして、調整板の位置を調整します。

※調整ネジを1/8回転(45°)まわすごとに、調整板が横方向に1mm単位で移動します。

調整板

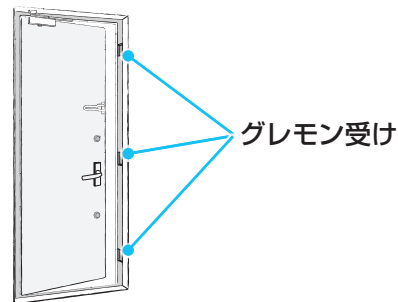


3 ドアを閉めて確認する

ドアを閉めて、閉まり具合やカギのかかり具合を確認します。
 ドアの閉まり具合やカギのかかり具合が悪い場合は、手順1~2を繰り返し、調整板の位置を調整してください。

グレモン受けの調整方法

グレモンハンドルを動かした時にロックがかかりにくい場合は、枠側にあるグレモン受けの位置を調整してください。グレモン受けの位置や形状は、商品によって異なる場合があります。



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 ドアを開ける

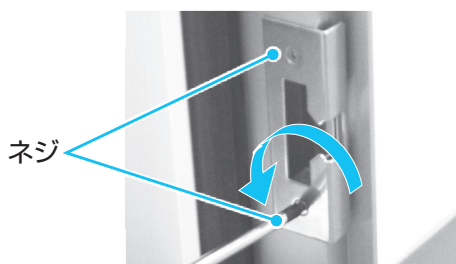
ドアを開け、閉まらないようにドアストッパーなどで固定します。

2 ネジをゆるめる

プラスドライバーでネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

お願い

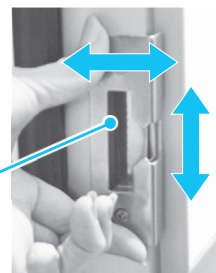
- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。



3 グレモン受けの位置を調整する

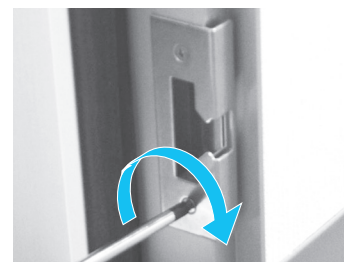
グレモン受けを上下左右に動かして位置を調整します。

グレモン受け



4 ネジをしめる

ネジを時計回りにまわしてしめます。

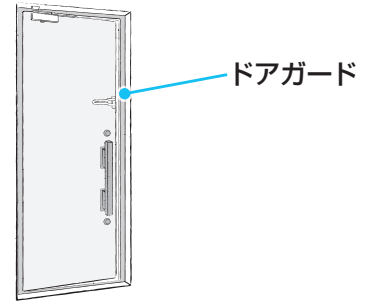


5 他のグレモン受けを調整する

手順2～4を行って、他のグレモン受けも同様に調整します。

ドアガードの調整方法

ドアガードがガタついたり、かかりにくくなったりした場合は、ドアガードの位置を調整してください。
 ドアガードの位置や形状は、商品によって異なる場合があります。ここでは、通風／ロック機構付タイプの写真を用いて説明しています。



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 ドアガードをセットする

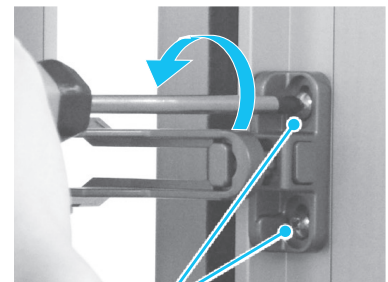
ドアガードをセットし、ドアを開けた状態で閉まらないように固定します。
 →P.141「ドアガードのセット方法」

2 取り付けネジをゆるめる

プラスドライバーで取り付けネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

お願い

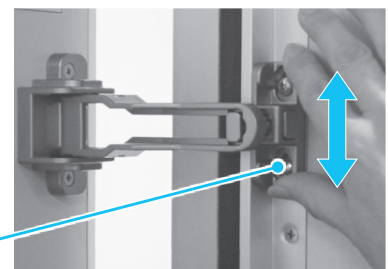
- ネジは絶対にはずさないでください。枠内部の部品がはずれ、元に戻せなくなるおそれがあります。



取り付けネジ

3 受け金具の位置を調整する

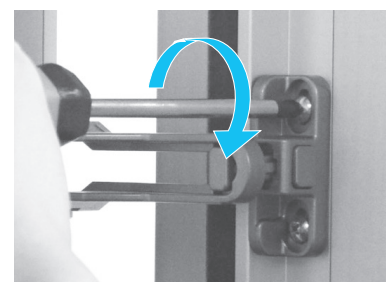
受け金具を上下に動かして位置を調整します。



受け金具

4 取り付けネジをしめる

取り付けネジを時計回りにまわしてしめます。

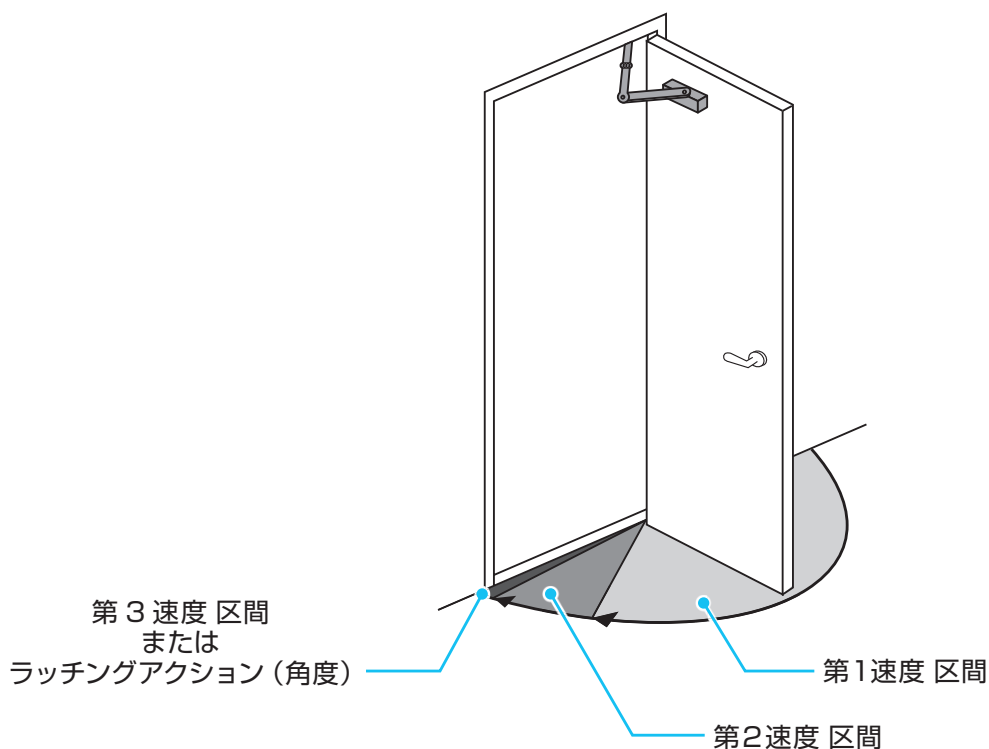


ドアクローザーとは

ドアクローザーは、ドアの閉まる速度を制御している部品です。
ドアから手を離して自然に閉まる時の3つの区間の速度または2つの区間の速度と閉まりきる直前でドアを素早く閉める（ラッチングアクション）角度を調整できます。

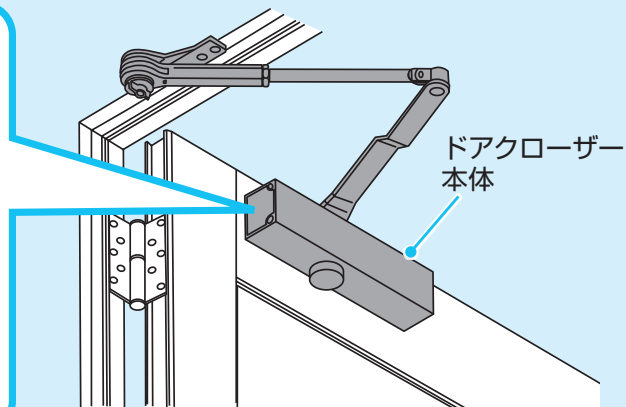
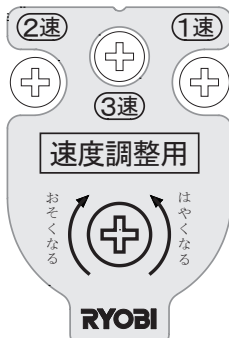
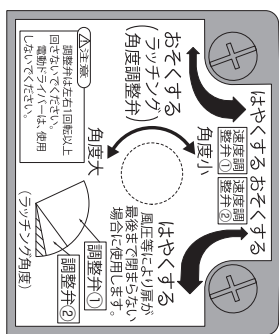
ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。



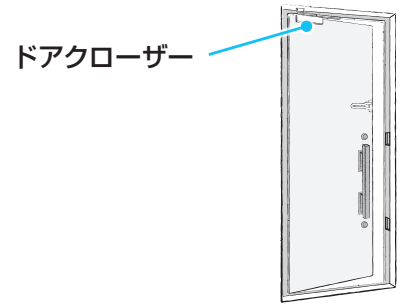
ラベル表示も参考にしてください。

「イノベスト」の場合



ドアの閉まる速度の調整方法

ドアが閉まりにくくなったり、ドアが「バタン」と大きな音を立てて閉まるようになった時、また、ドアが閉まる速度を変えたい時は、ドアクローザーの閉まる速度を調整してください。ドアクローザーの付いたドアを無理やり開閉しないでください。油漏れなど故障の原因となります。



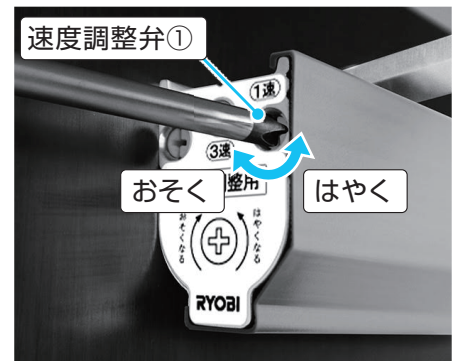
玄関ドア「ヴェナート D30」、「フロント」、勝手口ドア「エピソードⅡ」「ドアリモ 勝手口ドア」の場合

1 第1速度区間の速度を調整する

プラスドライバーで速度調整弁①をまわして、第1速度区間の速度を調整します。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。
- 調整弁（ネジ）をまわしすぎないでください。油漏れを起こすおそれがあります。

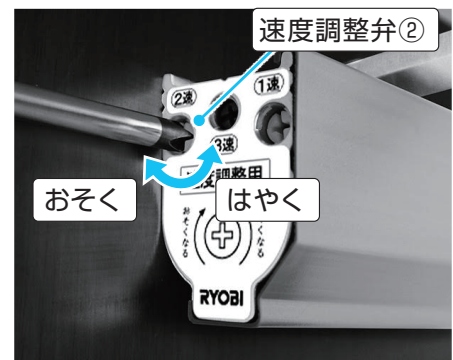


2 第2速度区間の速度を調整する

プラスドライバーで速度調整弁②をまわして、第2速度区間の速度を調整します。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。
- 調整弁（ネジ）をまわしすぎないでください。油漏れを起こすおそれがあります。

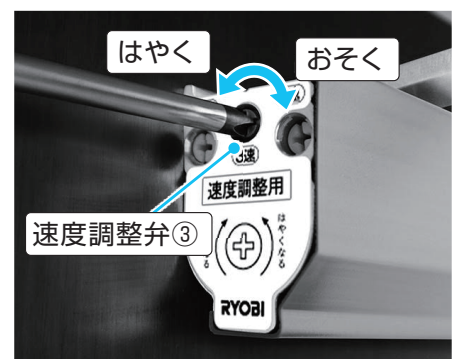


3 第3速度区間の速度を調整する

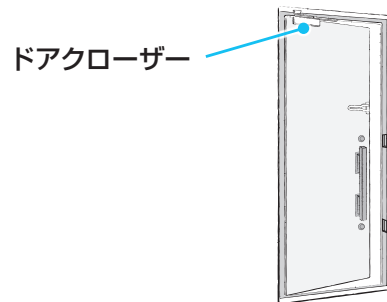
プラスドライバーで速度調整弁③をまわして、第3速度区間の速度を調整します。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。
- 調整弁（ネジ）をまわしすぎないでください。油漏れを起こすおそれがあります。



ドアの閉まる速度の調整方法



ドアが閉まりにくくなったり、ドアが「バタン」と大きな音を立てて閉まるようになった時、また、ドアが閉まる速度を変えたい時は、ドアクローザーの閉まる速度を調整してください。ドアクローザーの付いたドアを無理やり開閉しないでください。油漏れなど故障の原因となります。

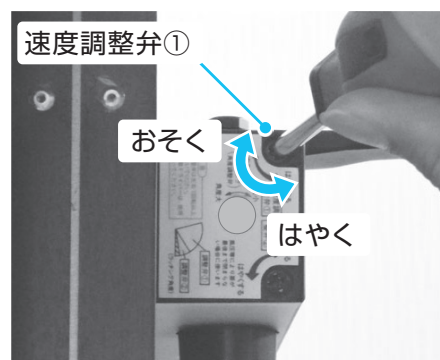
玄関ドア「イノベスト」の場合

1 第1速度区間の速度を調整する

プラスドライバーで速度調整弁①をまわして、第1速度区間の速度を調整します。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。
- 調整弁（ネジ）をまわしすぎないでください。油漏れを起こすおそれがあります。

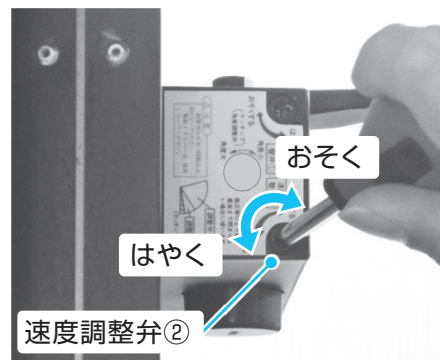


2 第2速度区間の速度を調整する

プラスドライバーで速度調整弁②をまわして、第2速度区間の速度を調整します。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。
- 調整弁（ネジ）をまわしすぎないでください。油漏れを起こすおそれがあります。



3 ラッチングアクションの角度を調整する

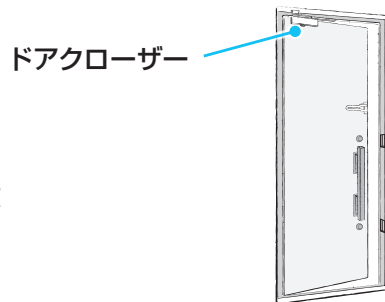
マイナスドライバーでラッチングアクションの角度を調整します。（通常はシールで封印されています。不要意にさわらないでください）

⚠️ 注意

- ラッチングアクションの角度を必要以上に大きくしないでください。角度が大きい状態で使用すると、指をはさむなど、思わぬ事故やけがをするおそれがあります。



ドアクローザーの取り付けネジの しめつけ方法



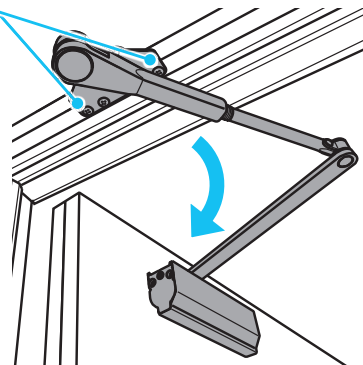
ドアがスムーズに閉まらなくなったり、閉まる時に「バタン」と大きな音がするようになったりした時は、ゆるんだドアクローザーの取り付けネジをしめつけてください。

玄関ドア「ヴェナート D30」「プロント」、勝手口ドア「エピソードⅡ」「ドアリモ 勝手口ドア」アパート用玄関ドア「2SD-Ⅱ」「レガーロ」の場合

1 ドアを開ける

ドアクローザーのブラケット取り付けネジが見える位置までドアを開けてください。

ブラケット
取り付けネジ



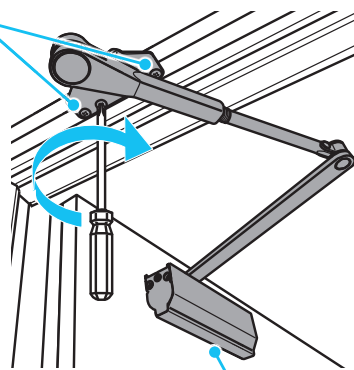
2 ブラケット取り付けネジをしめる

プラスドライバーでブラケット取り付けネジを時計回りにまわしてしめつけます。

お願い

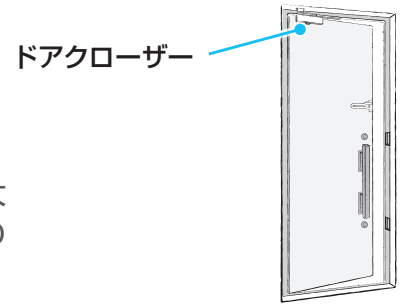
- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。

ブラケット
取り付けネジ



ドアクローザー
本体

ドアクローザーの取り付けネジの しめつけ方法



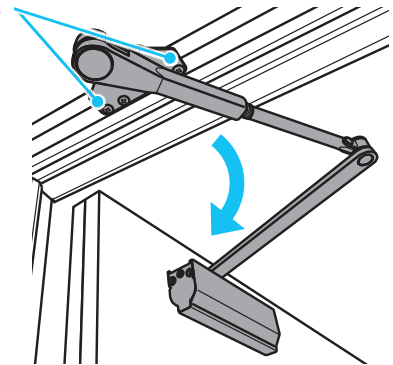
ドアがスムーズに閉まらなくなったり、閉まる時に「バタン」と大きな音がするようになったりした時は、ゆるんだドアクローザーの取り付けネジをしめつけてください。

玄関ドア「ヴェナート D30」「プロント」、勝手口ドア「エピソードII」「ドアリモ 勝手口ドア」の場合

1 ドアを開ける

ドアクローザーのブラケット取り付けネジが見える位置までドアを開けてください。

ブラケット
取り付けネジ



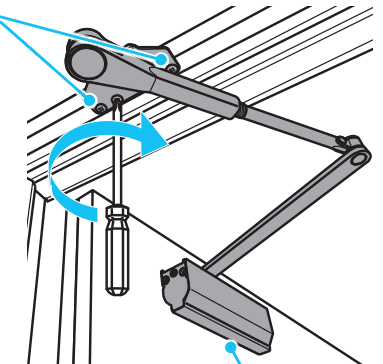
2 ブラケット取り付けネジをしめる

プラスドライバーでブラケット取り付けネジを時計回りにまわしてしめつけます。

お願い

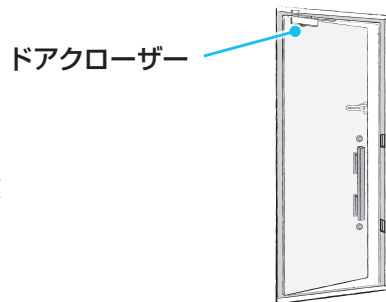
- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。

ブラケット
取り付けネジ



ドアクローザー
本体

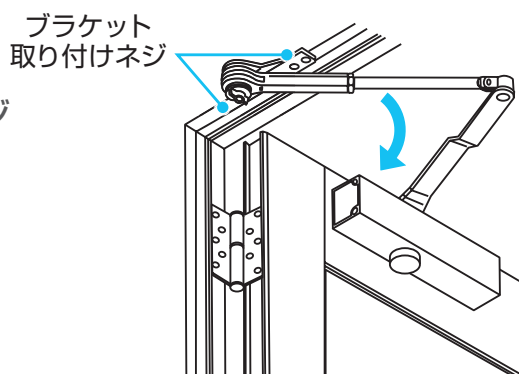
ドアクローザーの取り付けネジの しめつけ方法



玄関ドア「イノベスト」の場合

1 ドアを開ける

ドアクローザーのブラケット取り付けネジが見える位置までドアを開けてください。

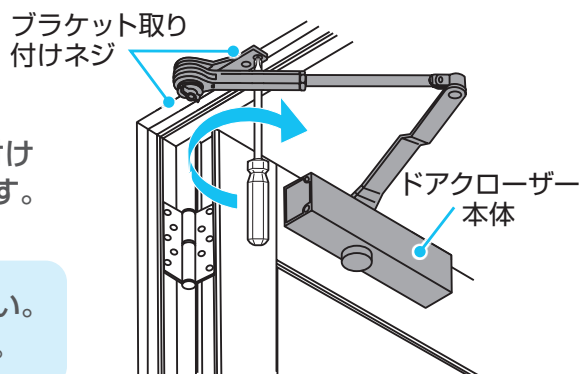


2 ブラケット取り付けネジをしめる

プラスドライバーでブラケット取り付けネジを時計回りにまわしてしめつけます。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。

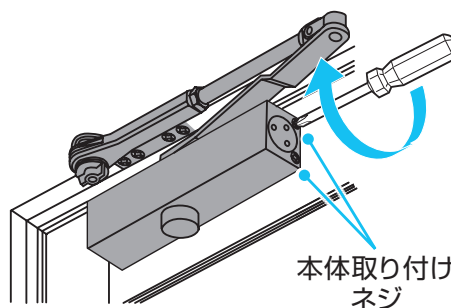


3 本体取り付けネジをしめる

プラスドライバーで本体取り付けネジを時計回りにまわしてしめつけます。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。

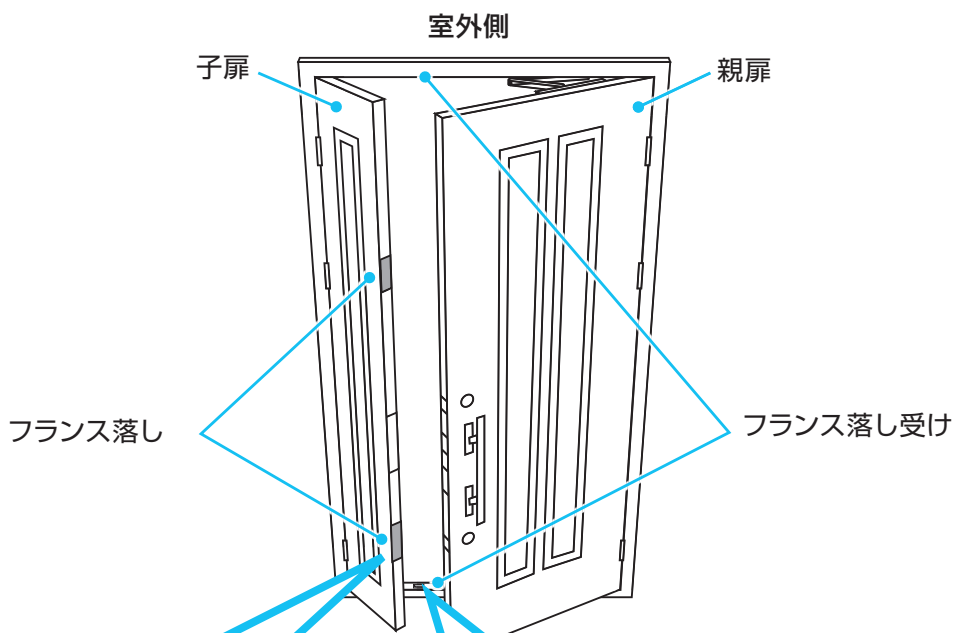


フランス落としとは

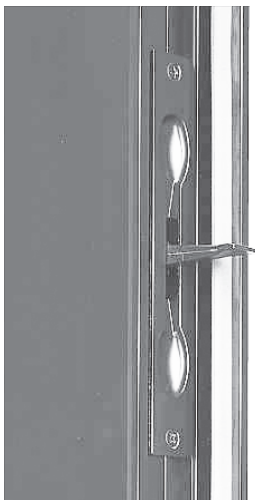
両開き扉、または親子扉のカギが付いていない扉を固定するために用いる戸締まり金具です。扉の側面に付いたレバーを操作すると、扉の上下からピンが出る仕組みになっています。上枠や下枠に設けたフランス落とし受けの穴にピンが入ることで扉が固定されます。

ご使用前に確認してください

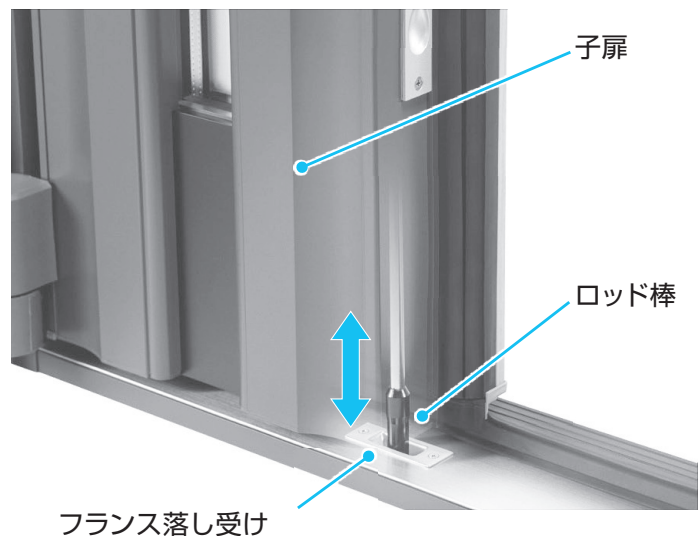
- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。



フランス落とし



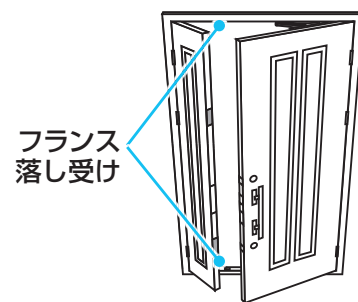
フランス落とし受け



フランス落とし受けの調整方法

子扉がガタついたり、ツマミ（フランス落とし）が動かしくなくなったりした時には、フランス落とし受けの位置を調整してください。

ここでは、下枠のフランス落とし受けの調整方法を説明しています。



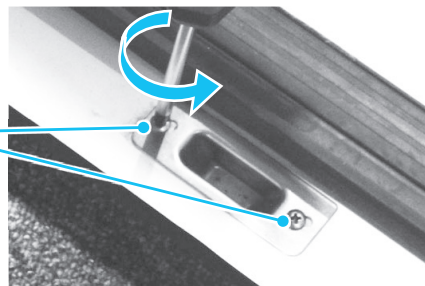
1 ネジをゆるめる

プラスドライバーで下枠にあるフランス落とし受けの取り付けネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。
部品が落下するおそれがあります。

ネジ



2 フランス落とし受けの位置を調整する

フランス落とし受けを動かして位置を調整します。

※調整範囲：2mm

※フランス落としがかかりにくい場合：室外側へ

※子扉のガタつきが大きい場合：室内側へ

室内側

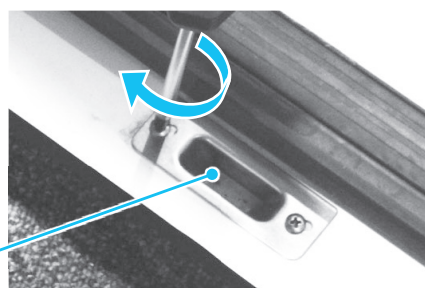
室外側



3 ネジをしめる

プラスドライバーで取り付けネジを時計回りにまわしてしめます。

フランス落とし受け

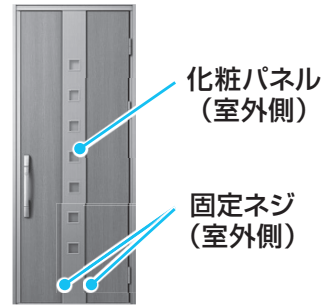


4 上枠のフランス落とし受けを調整する

手順1～3を行って、上枠にあるフランス落とし受けの位置も調整します。

化粧パネルの取りはずし方

玄関ドアの化粧パネルは、お手入れの際などに取りはずすことができます。
ここでは、化粧パネルの取りはずし方、取り付け方を説明しています。



ご使用前に確認してください

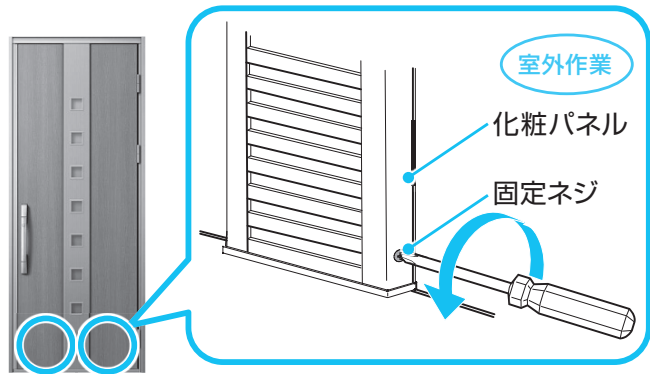
- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

玄関ドア「ヴェナート D30」の場合

1 固定ネジをはずす

プラスドライバーで化粧パネルの下部にある固定ネジ（2か所）を反時計回りにまわしてはずします。

- はずしたネジは、取り付けの際に必要となりますので失くさないよう保管してください。



2 ドアを開ける

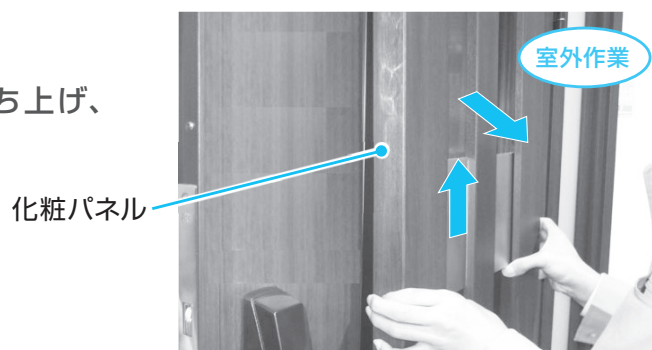
化粧パネルを取りはずす際に、上枠に化粧パネルが当たらないよう、ドアを少し開けた状態で固定します。

お願い

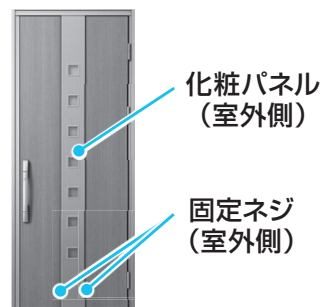
- ドアを開けずに化粧パネルを持ち上げないでください。上枠にパネルがあたり、破損するおそれがあります。

3 化粧パネルを取りはずす

化粧パネルを1～2cm程度持ち上げ、手前に引いて取りはずします。



化粧パネルの取り付け方



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

玄関ドア「ヴェナート D30」の場合

1 ドアを開ける

室外作業

化粧パネルを取り付ける際に、上枠に化粧パネルが当たらないよう、ドアを少し開けた状態で固定します。

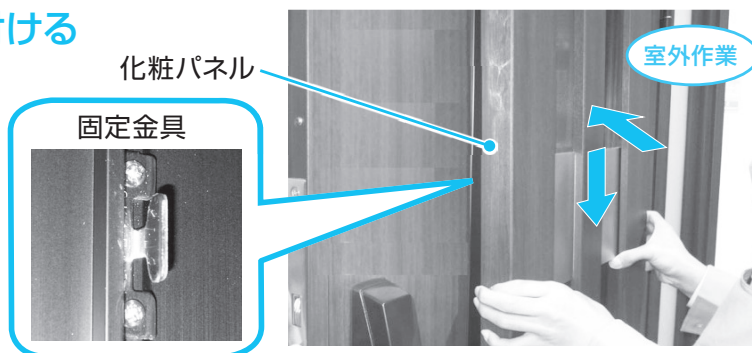
お願い

- ドアを開けずに化粧パネルを持ち上げないでください。上枠にパネルがあたり、破損するおそれがあります。

2 化粧パネルを取り付ける

室外作業

化粧パネル裏側の固定金具（4か所）をドアの穴に引っ掛けて化粧パネルを下げます。

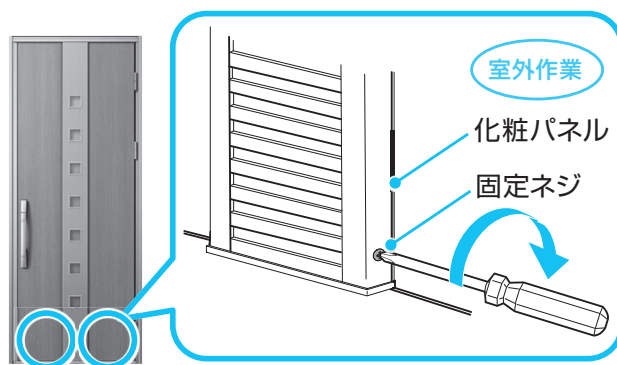


3 固定ネジをしめる

室外作業

プラスドライバーで化粧パネルの下部にある固定ネジ（2か所）を時計回りにまわしてしめます。

※化粧パネルがはずれないことを確認してください。



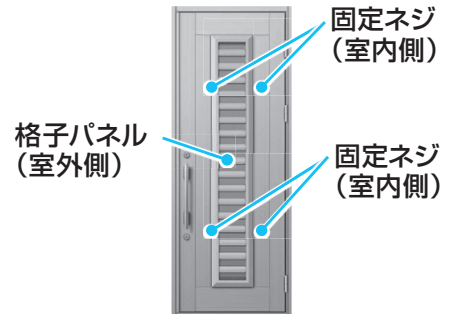
⚠注意

- 固定ねじは必ずしめてください。化粧パネルが脱落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

通風ドア（上げ下げ通風機構）

格子パネルの取りはずし方

通風ドアや通風引戸の格子パネルは、お手入れの際などに取りはずすことができます。
ここでは、格子パネルの取りはずし方、取り付け方を説明しています。



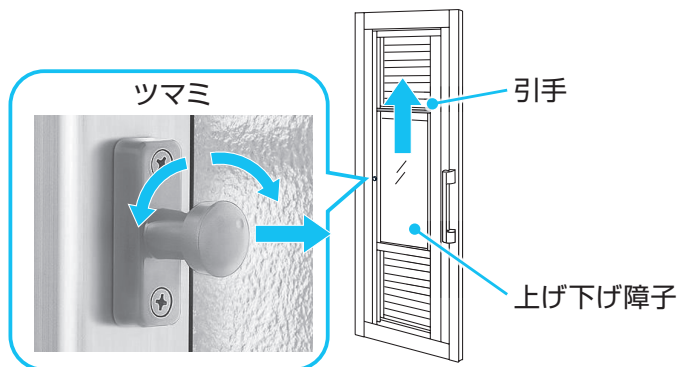
ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

玄関ドア「フロント」の場合

1 上げ下げ障子を開ける

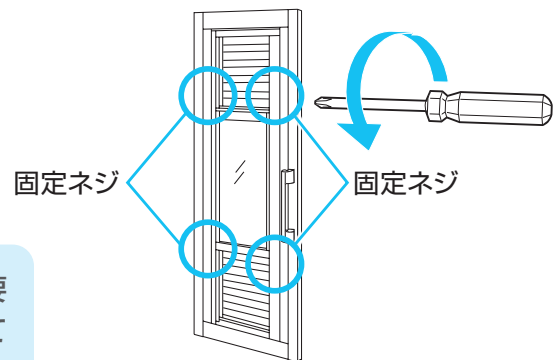
ツマミを引き出しながら右（または左）に45°まわし引手を持って、上げ下げ障子を開けます。



2 固定ネジをはずす

一人が室外側から格子パネルを支えます。もう一人が室内側からプラスドライバーで固定ネジ（4か所）を反時計回りにまわしてはずします。

- はずしたネジは、取り付けの際に必要となりますので失くさないよう保管してください。

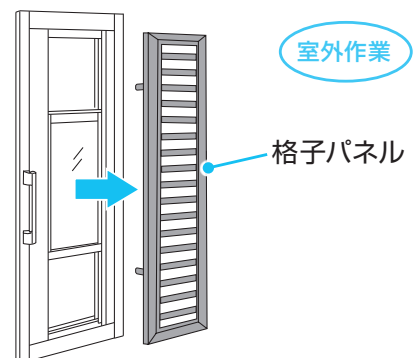


3 格子パネルを取りはずす

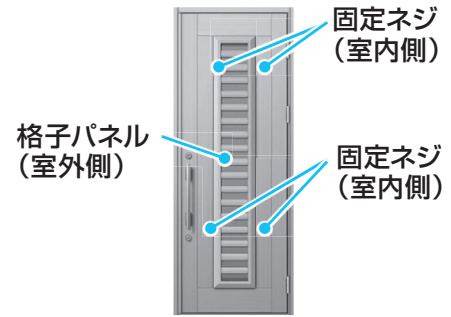
格子パネルを手前に引いて取りはずします。

⚠注意

- 格子パネルの脱着は、必ず2人以上で行ってください。格子パネルを落下させるなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



格子パネルの取り付け方



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

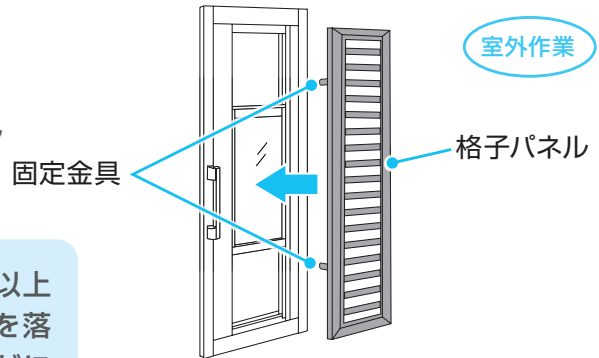
玄関ドア「プロント」の場合

1 格子パネルを取り付ける

室外で格子裏側の固定金具（4か所）を上げ下げ障子に合わせて格子パネルを取り付けます。



- 格子パネルの脱着は、必ず2人以上で行ってください。格子パネルを落下させるなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

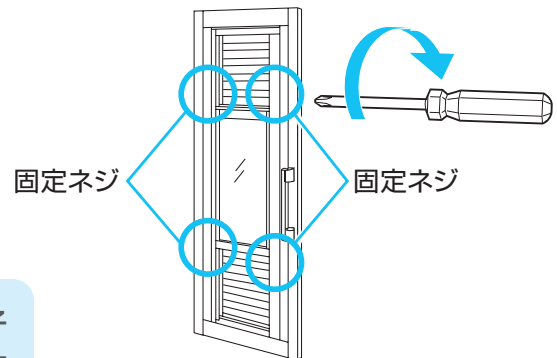


2 固定ネジをしめる

一人が室外側から格子パネルを支えます。もう一人が室内側からプラスドライバーで固定ネジ（4か所）を時計回りにまわしてしめます。



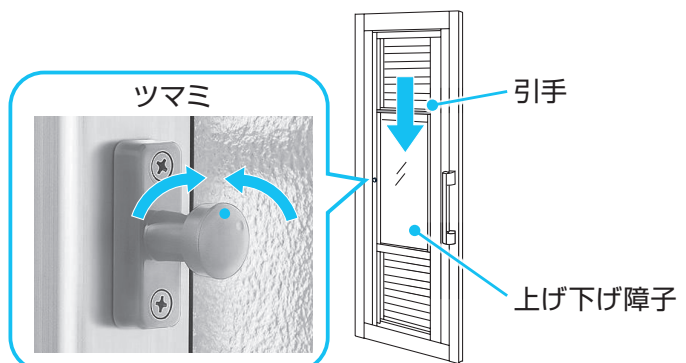
- 固定ねじは必ずしめてください。格子パネルが脱落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



3 上げ下げ障子を閉める

引手を持って上げ下げ障子を閉め、ツマミを右（または左）に45°まわして目印を上に合わせてみます。

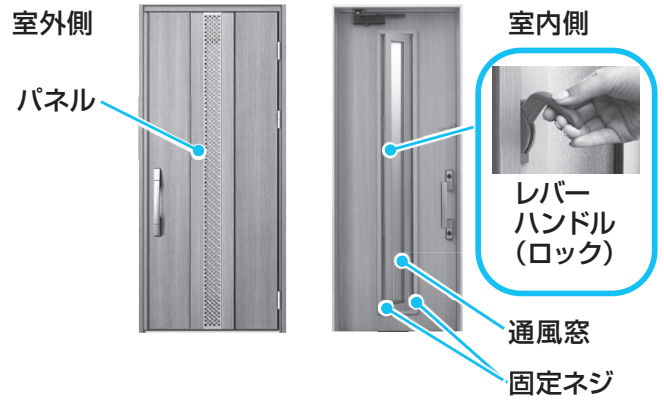
※格子がはずれないことを確認してください。



通風ドア（内開き通風機構）

パネルの取りはずし方

通風ドアや通風引戸のパネルは、お手入れの際などに取りはずすことができます。ここでは、玄関ドア（内開き通風機構）のパネルの取りはずし方、取り付け方を説明しています。



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

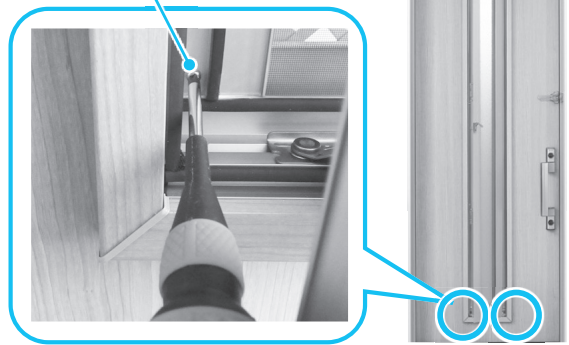
レバーハンドルタイプの場合

1 通風窓を開け、固定ネジをはずす

通風窓を全開（40度）にし、プラスドライバーで下部にある固定ネジ（2か所）を反時計回りにまわしてはずします。

- はずしたネジは、取り付けの際に必要となりますので失くさないよう保管してください。

固定ネジ（左右2か所）



2 ドアを開ける

室外作業

パネルを取りはずす際に、上枠にパネルが当たらないよう、ドアを少し開けた状態で固定します。

お願い

- ドアを開けずにパネルを持ち上げないでください。上枠にパネルがあたり、破損するおそれがあります。

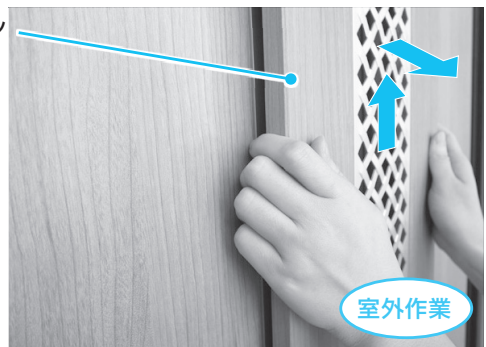
3 パネルを取りはずす

パネルを1～2cm程度持ち上げ、手前に引いて取りはずします。

お願い

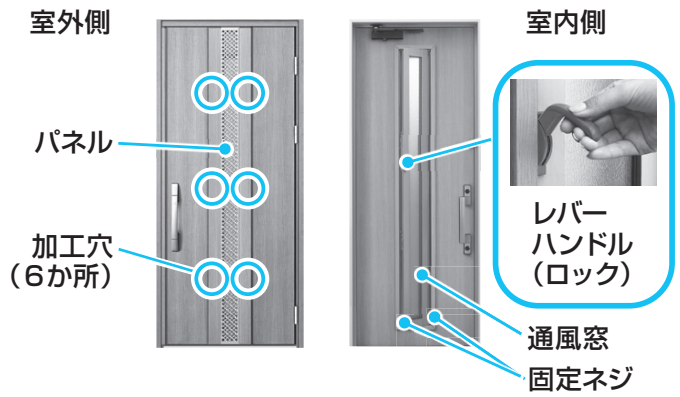
取りはずしたパネルは、養生された場所に静かに置いてください。乱暴に扱うと、パネルが破損するおそれがあります。

パネル



室外作業

パネルの取り付け方



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

レバーハンドルタイプの場合

1 ドアを開ける

室外作業

パネルを取り付ける際に、上枠にパネルが当たらないよう、ドアを少し開けた状態で固定します。

お願い

- ドアを開けずにパネルを持ち上げないでください。上枠にパネルがあたり、破損するおそれがあります。

2 パネルをドアに仮付けする

パネルを持ち、側面から固定金具と加工穴(6か所)の位置を確認しながら差し込みます。

※パネルがドアに引っ掛かります。(仮り付け)



3 パネルを取り付ける

パネルを少し持ち上げながらドアに押し当て、固定金具を引っ掛けます。

※パネルとドアの間にすき間が無いことを確認してください。

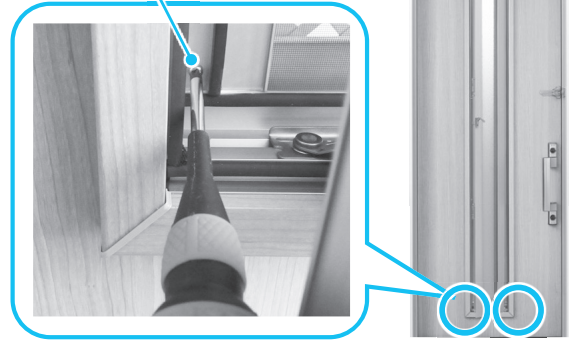


4 通風窓を開け、固定ネジをしめる

通風窓を開け、プラスドライバーで化粧パネルの下部にある固定ネジ（2か所）を時計回りにまわしてしめます。

※パネルがはずれないことを確認してください。

固定ネジ（左右2か所）



⚠ 注意

- 固定ねじは必ずしめてください。パネルが脱落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

5 通風窓を閉める

通風窓を閉め、ロックします。

ハンドル

